

第58回

親子でいい歯 コンクール

最優秀

はたけやまほのか さやか
畠山穂乃香ちゃん・清香さん



▲「ちゃんと歯ブラシしています！」と穂乃香ちゃん。「今まで虫歯になったことはありません」と清香さん。

6月5日(金)、保健センターで「第58回親子でいい歯コンクール」第1次審査が開かれました。

このコンクールは、親子で歯の大切さを知ってもらおうと毎年行われているものです。この日は、平成20年度中に3歳6か月児健康診査を受けた197名の中から、虫歯のないきれいな歯をもつ17組の親子が参加されました。

歯科医師による審査の結果、日野町代表に、畠山穂乃香ちゃん・清香さん親子(湖南サンライズ)が選ばれました。

おめでとございます。これからもずっといい歯でいてください。

畠山さん親子は、日野町代表として、6月18日(木)に行われた東近江地域第2次審査に出場されました。



▲参加された17組の親子と審査された毛利歯科医師

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

夜空を見上げるとお星様がキラキラと輝いています。七夕の夜、織姫と彦星が天の川を渡ってデートするのは1年一度。

であとわずか。またもや支持率は20%程度に。衆議院議員の任期4年の間に小泉、安倍、福田、麻生と首相が1年毎に交替したのは珍しいこと。泣いても笑っても総選挙はもう目前です。

早いもので2期目の町政を担当させていただき1年が経過しました。1年前、日野中学校は何基ものクレーンが腕を伸ばし工事の真ん中でした。今では新校舎ができ、旧校舎の解体も終わり、校庭の整備工事もうすぐ始まります。日野菜の振興も盛り上がってきました。農業体験・農家民泊も7月下旬には大阪の小学生を受け入れる予定です。いろいろな事業が進んでいることは大変ありがたいことです。

1年前といえれば景気の状態はまだそう悪くはなっていませんでしたが75歳以上の後期高齢者医療制度に「姥捨て山」などと批判が高まり、当時の福田内閣の支持率は20%程度まで低下。これでは選挙が闘えないと9月に退陣、麻生内閣が発足。すぐに総選挙が実施されると思いきや結局、任期満了ま

おりしも未曾有の経済危機の真つただ中、政府は「経済危機対策」として莫大な予算を編成しました。財源は殆どが国債(借金)、内閣に設置されている「経済財政諮問会議」では消費税の引き上げの議論がされています。消費税は、所得に関係なく課税されるため逆進性の高い庶民には厳しい税金です。「福祉のために」という「口実」で導入され引き上げられてきました。一方、法人税などの税率が引き下げられ大企業や高額所得者は減税されてきました。また、非正規労働者の拡大で年収300万円未満の労働者が増える一方でマネーゲームや株主の配当の増大などで格差は拡大し貧困が深刻化しています。かつて、「一億総中流」といわれた時代がありました。が「今は昔」です。誰もが幸せになれる社会の実現をめざし、経済や政治の仕組みを根本から転換しなければならぬと思います。